

日本のお客様とワシントン州を結ぶ日本語版情報誌

発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局

シアトルにおける住宅リフォームの近況

GM Studio建築事務所 松原 博 (www.gmstudio.us)



P2実例1リフォーム前



リフォーム後

1994年の設立以来、数多くのプロジェクトに携わってきましたが、この10年間、常に住宅リフォームは我々の活動の中心となって来ました。ここでは最近完成した3つのプロジェクトを中心に、シアトル周辺での住宅リフォームの近況をお知らせします。1848年に入植が始まって以来、急速に発達してきたシアトル市は、ダウンタウンの南側以外の地域では、ほぼ第2次世界大戦以前に宅地開発が終わっています。シアトル市の建物は戦後直後の復員兵家族への供給時期に大量に建てられた住宅を含めて、築後50年から80年のものが多く見られます。築年数が高いにも拘わらず、今までの経験からすると、建て直しの物件数より改築の物件数の方が確実に多くなっています。ご存知の通り米国では、家族の年齢、状況に応じてその都度住まいを変えることがあたり前なので、今までお世話してきた施主もほとんどがリフォームをその家への投資としてとらえています。また、建物にかけた工事金額が何年くらいで投資として利益につながられるか判断することに多大のエネルギーを費やします。

リフォームのトレンド

シアトル市、そしてその周辺部に建っている住宅は、そのほとんどが伝統的な様式の建物です。戦前に建てられた住宅の多くが、戦後の経済成長期にはやったアルミニウムの窓枠を取り付けられていることが多く、トレンドはやはり、このアルミの窓枠をもっとトラディショナルなデザインの木製の二重ガラスの窓に直すことでしょう。内装の改築に関しては、キッチン、マスターベッドゾーンそしてファミリールーム(時にはレクリエーションルーム)の改築がトレンドの様です。

キッチンの場合、アイランド形式のキャビネットが入るオーバーサイズの部屋に、ファミリールームを続きの間として使用されることも多く、キッチンが家族全員が団欒する場所として認識され始めたようです。それに伴い居間で家族と過ごす時間が少なくなった分、居間を客間として利用する傾向があり、よりフォーマルなデザインがダイニングルームを含めて求められています。(3ページへつづく)

北米住宅に見るキッチン市場動向

デウィルズインダストリーズ 中込 大之 (www.dewils.com)



今米国で人気のグレース仕上げ

不穏な陰の中成長を続ける北米リフォーム市場

好景気にも陰りを見せ、不況で騒がれたアメリカ経済。失業率及び貿易収支の悪化、株価低迷とアメリカに住む者にとって財布の紐は硬くなるばかりの去年、そんな中で着実に続伸し続けるのが新築住宅及びリフォーム市場。住宅市場は以前にもまして大きく膨らみ続けています。特にリフォーム市場の勢いは衰えを見せず成長の一途をたどっています。その中でリフォームNo1の主役と言えばはじめに頭に浮かぶのがキッチンリフォーム！ここでは北米リフォーム市場でもっとも多く改装される場所、キッチンの動向と日本においてこれからのキッチンのあり方をレポートさせていただきます。

キッチンリフォームの目的

アメリカでのキッチンリフォームが主役となる理由は幾つかありますが、ここでは主に二つを取り上げます。

住宅の中心的存在であるキッチン空間

北米の一戸建住宅ではキッチンを中心に設計されている物件が多く見受けられ人体でいうなれば心臓部にあたり、玄関を開けるとそこにはリビングやキッチンが見えるという場所が多く見られます。先ほど人体に例えるならば心臓部と述べましたが、古く使いにくい空間はまさに心肺機能低下のような状態に例えられ、その住宅自体の価値を下げる要因になりかねないのです。

時流に乗り昨今の日本の新築でもリビングにキッチンが合わさった設計が多く(5ページへつづく)

北米建築資材と情報の宝庫

北海道から九州までのお客様のニーズに合わせ、今までDIY用資材、小住宅、分譲住宅、アパート、店舗、シニアハウス、米軍基地等、様々なプロジェクトに資材を提供してきました。

- ◆日本市場で業務経験15年間。
- ◆信頼性の高いメーカーから資材を直接購入。
- ◆良心的な価格。
- ◆タイムリーなサービス。
- ◆日本語/英語とも可。

GREEN CROW

365 118TH AVENUE S.E., SUITE 130
BELLEVUE, WA. 98005
TEL : (425)454-2459 FAX : (425)454-2946
E-MAIL : greencrowibpm@msn.com
http://www.greencrow.com



目次

シアトルにおける住宅リフォームの近況・北米住宅に見るキッチン市場動向 ...	1	住宅開発地ウッドサイド	11
EBPA冬季住宅視察ツアー	2	シアトルMBA・スウィメックス	12
NAHB2004	6	木造伝統構造 ティンバーフレーム	13
プロフェッショナル・ビュー	7	MEET EBPA・住宅建材セミナー	14
改正建築基準法の施行	10	書籍一覧・活動スケジュール・資料請求	15



連絡先：米国ワシントン州政府通商経済開発局日本事務所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301 TEL: 03-5776-7766 FAX: 03-3459-0897
e-mail: jwnko@gol.com http://www.oted.wa.gov/trade/jpn_housing/
担当：御子柴(みこしば) 淳子 Contact: Junko Mikoshiba

エバグリーン 建築資材貿易振興会

日本事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301
TEL: 03-3459-0898 FAX: 03-3459-0897
e-mail: ebpa@mue.biglobe.ne.jp http://www.ep.org/
担当：梶田 章 Contact: Akira Kajita

2004年エバグリーン夏季 住宅視察ツアー

アメリカ住宅の環境と健康への

取り組み & 高級住宅デザインとインテリア

エバグリーン 建築資材貿易振興会

日本事務所

期間：8月30日（月）～8月31日（火）

場所：ワシントン州シアトル市、タコマ市、及び オレゴン州ポートランド市

2日間の現地参加費用

EBPA会員 30,000円

一般 33,000円

エバグリーン夏季住宅視察ツアー2004は、日本の工務店ビルダー、建築設計者、インテリアデザイナー、建材流通業者の方々を対象に、セミナーご参加・建築現場や住宅展示場視察を通じて、アメリカ住宅業界のグリーン・健康住宅建設への取り組みと高級戸建住宅の専門知識を得ていただくものです。

第一日目

健康住宅、*サステナブル住宅のための
建材とその使われ方

シアトル市は、環境にやさしい健康住宅の分野においてアメリカ国内において最も進んだ地域と認められています。

*サステナブル...環境負荷が少ない、次世代に負債を残さない、持続可能な、の意味。

a) 「環境ホームセンター」視察

省エネ効果があつて、環境にやさしく、安全で健康的な住まいのための建材や一般消費財を専門に扱い、この分野で受賞を受けているホームセンターを訪れます。ここでは専門家から新商品や人気製品についての話を伺います。



このホームセンターは1991年、ホームビルダーのマシュー・フリーマングリーソン氏により創業され、自分たちの環境と仕事を持続させることのできるサステナブルな住宅、生活のための解決方法を消費者、建築家、デザイナー、建築業界のプロフェッショナルに紹介します。

b) サステナブル・健康住宅の建築現場を視察

サステナブル・健康住宅に使われる最新の製品・技術・デザインを確認する目的で、シアトル地域で戸建住宅を2ヶ所視察いたします。現場では、実際の施主、建築家が、どのように考えて、製品や技術を使っているか具体的な説明を聞きます。このツアーは、アメリカ北西部において、環境にやさしい建築を推進する協会、ノースウエスト・エコ・ビルディング・ギルドの協力を得て行われます。

NWエコ・ビルディング・ギルドは非営利で運営され、環境にやさしくサステナブルで健康な住宅建築を支持するビルダー、施主、建材メーカー、住宅建築にかかわる業者がメンバーとなり運営されています。

1993年に設立し、今では米国北西部に8支部を持ち、ネットワークを通じてサステナブルで健康な住まい方の専門知識の収集と教育普及活動を行っています。



第二日目

高級戸建住宅の視察

今年で29回目を迎える「ポートランド・ストリート・オブ・ドリームス」(オレゴン州ポートランド市)を視察します。アメリカ木製フレーム構造住宅における、最も新しいデザイン、ライフスタイル、インテリア・デコレーション、建材、内装材の使い方をご覧ください。絶好の機会です。



ポートランド・ストリート・オブ・ドリームス(ヒドゥン・エステイツ) 約2エーカー(約8,100平方メートル)の土地面積に建てられた7棟の戸建住宅が展示されます。今年開催される場所はシーダーの木々、10エーカーの湖、小川が流れる美しい地域です。高級感を十分に反映する住宅をビルダーからの話しを交えてご見学いただきます。

その他のスケジュール

・シアトルでレセプション
建築家、建材メーカー、建材輸出業者との交流に役立ちます。



・オプション 野球観戦
シアトル・マリナーズ 対
カンザスシティ・ロイヤルズ
開催日：8月29日
会場：シアトル市セイフコ・フィールド

イチロー、長谷川 が出場予定のこの試合をお見逃し無く！

2004年エバグリーン建築資材貿易振興会

夏季住宅視察ツアープログラム

日付	時間	プログラム	詳細
8月29日	午後1:05	(オプション) 野球観戦 セイフコフィールド	シアトルマリナーズ 対 カンザスシティロイヤルズ
8月30日	午前	シアトル	「環境ホームセンター」視察
	午後	シアトル	建設現場視察(健康で環境にやさしい家)
	午後	タコマ	レセプション、ミニ展示会
8月31日	午前	貸切バスでポートランドへ移動	
	午後	ポートランド・ストリート・オブ・ドリームス視察	
	午後	貸切バスでシアトルへ戻る	

参加費用に含まれるもの

・日本語資料(視察する住宅の詳細情報、聞き取り情報)
・視察中の解説と現場での日本語通訳
・バス手配(シアトル、タコマ、ポートランド、シアトル地域のご宿泊ホテル間のバス送迎)
・8月30日及び31日の昼食代、また30日のレセプション費用
・「ポートランド・ストリート・オブ・ドリームス」の入場費用
・アメリカ建材メーカー及び「環境ホームセンター」の製品カタログ

参加費用に含まれないもの

航空チケット費用・ホテル費用・空港からの送迎・朝食

参加申込の締切日
2004年8月9日

キャンセルした場合の参加費返金
8月16日までは100%
8月23日までは50%
8月23日以降は0%

お問い合わせ：

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)日本事務所
105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301 Tel: 03-3459-0898
Email: ebpa@mue.biglobe.ne.jp URL: http://www.ep.org/

お申込・お問い合わせ FAX: 03-3459-0897

フリガナ
会社名/担当者名
フリガナ
住所
Tel/Fax

後援： WASHINGTON STATE
Office of Trade & Economic Development

JETRO SEC

(1ページよりつづく)

ます。マスターベッドルームゾーンはステータスシンボルとして住宅内で重要な位置をしめ、より大きなウォークインクローゼット、子供部屋から隔離した浴室(マスターバスルーム)の要望が増えています。

施主参加型 vs 建築家お任せ型

我々が携わって来たプロジェクトは施主参加型リフォームと建築家お任せ型リフォームに大きく分けられます。施主参加型リフォームでは極端な場合、かなり正確な下図面を引いて持ちこんできて、建築申請図面の作成だけを希望する施主や、部屋の配置、仕上げ、色、スタイルすべてを指定する施主もいます。また、工事の一部を請け負ったり、建設部品を自分で購入して工務店に提供する施主もいます。これに対し、建築家お任せリフォームでは、計画から監理まですべてお任せというパターンですが、これは非常に少数派となっています。いずれの場合でも、我々の主な仕事は、計画段階で施主からの数ある希望事項を予算内で3次元空間にはめ込んで行きながら、施主のライフスタイルなども加味しつつ、希望項目に順位をつけることです。そして、最終的に財政状況とすり合わせながら、どの項目が実現可能であるかを施主と確認した上でそれらの項目を建物として図面化することです。

実 例

1. ローレルハーストの住宅例(地下付、一階建 - 総二階新築)

この住宅は1950年代に建てられたランチ(Ranch)様式の建物で、4寝室、2バスルーム。施主は30才代半ばの夫婦と幼児で、新しいキッチンとファミリールーム、マスターベッドルームゾーンを希望。予算に限りがあるので、既存の屋根を取り去り、現状の壁の上に総二階を載せることで計画を始めました。まだ若い夫婦でもあり、これから家族の人数も増えることを想定して、キッチンと続き間のファミリールームを建物のコアとして最も奥に位置させ、そこから動線がそれぞれの部屋に延びる形で設計を進めました。コロニアル様式のデザインを希望していたので、基本的には部屋の配置は出来るだけシンメトリーを強調しつつも、子供達の動きを考慮して、廊下式の配置ではなく部屋間を循環できる間取りにしました。階高を8フィートから既存の壁につけたしをして9フィートまで増幅し、クラウンモールディング、窓周りのケーシング、背の高い巾木を多用して、コロニアル様式の復元に努めました。このプロジェクトは施主参加型の典型で、キッチンキャビネットの選択から、外装材及び衛生器具の買い付け等、広範囲に渡って積極的に施主が工事監理に参加して、最終的に施主にとってデザイン、工事金額ともに満足出来る建物になりました。

2. ウェッジウッドの住宅例(地下付、二階建 - 改築一部持ち出し)

この住宅は1920年代に建てられた擬チューダー様式の建物で、4寝室、2バスルーム。施主は30才代半ばの夫婦で新しいキッチンとマスターベツトゾーンを希望。

当初からの施主の強い希望でドーマーを多用した案をもとに、二階の改築の設計を進行させましたが、構造の予算が極端にオーバーしたため、計画半ばにして断念。急遽、既存建物の南側を持ち出し、アイランド形式のキャビネットを入れたキッチンと、バルコニー付のマスターベッドゾーンを二階にとり込む計画に変更しました。比較的面積のある南側の庭に面した新しいキッチンは窓から入る日差しで一日中明るく、フレンチドアを通して外部デッキに出ることが出来るので、夏の天気の良い日には、朝食から夕食までこのデッキで食事を楽しめると施主も大変気に入っているようです。



リフォーム前



リフォーム後

3. マーサー島の住宅例(二階建 - 母屋一部持ち出し、別棟新築)

この住宅は1970年代に建てられたランチ(Ranch)様式の建物で、4寝室、2バスルーム。もともと、2世代住宅として設計された建物のため、玄関が二階にあって不便なので玄関を移動し、施主のホームオフィスの増築を希望。



リフォーム前



リフォーム後

施主は40才代半ばの夫婦と2人の子供。寝室数を増やして不動産価値をあげることで、島の東側斜面に立つ新しいホームオフィスからの景観がやはり不動産価値につながることを考慮して、母屋内の車庫と寝室に改造し、独立した車庫とその上にホームオフィスを新築する計画を始めました。二階が主階の母屋の方は、一階から二階まで吹き抜けの階段室兼エントランスルームを建物から持ち出し、一階からの動線問題を解決しました。この地域は宅地開発された時期が比較的最近で、特に近隣と調和するための特別な建築様式にとらわれる必要がなく、外装は既存の建物の様式を変えずに、増築部分は色度の高いスタッコと石材を使用して、改築部分がどこから見ても認識出来るようにデザインしました。

行政と市民の協力体制

シアトル市では、ある一定規模の建物の建築申請をする場合、計画中の建物のデザインが近隣に及ぼす影響をコントロールするためDesign Reviewと言う審査を通過しないと許可を受けられません。これは市民による市民のための一種のフォーラム形式の審査委員会で、近隣の住民が計画中の建物のデザインに納得しなければ、基本的には建築申請は許可されないことになっています。この審査委員として会合に参加して感じることは、シアトル市の多くの住民が非常に街並にたいして興味を持っているということです。これは新築より改築を好む傾向にもつながる問題で、基本的に歴史的なものを破壊することに、非常に懸念を持っている人が多いようです。歴史的な建物が極端に少ない日本では、中々問題として取り上げにくいことかも知れませんが、

(5ページへつづく)

住宅建材を専門とする信頼できるホールセラー(卸し売り)会社

Western Pacific
West Pac

ウエスタンパシフィックビルディングマテリアルズ



ウエスタンパシフィック、より広いビルディングに移転!

2,900坪の倉庫にて4,000種類以上の建材の在庫と敏速な出荷。

- ・大手建材メーカーから直接購入出来る会社規模と購買力
- ・150名の社員からなる機動力
- ・自社内のドア吊り込みの機械にて、敏速なプレハングドアの出荷
- ・日本だけでなく、アメリカ国内のホームビルダーからも厚い信頼を得ており、毎年、アメリカ高級住宅展示会「ポートランド・ストリート オブ ドリーム」にも、資材を供給しております。
- ・日本との取引歴も長く、お客様との信用関係を重視しております。
- ・日本語の話せる社員が常勤

Western Pacific Building Materials, Inc.

2805 N.W. 31st Avenue, Portland, Oregon 97210 USA
電話番号: アメリカ 503-224-9142 • FAX 番号: アメリカ 503-241-3858
Eメール: westpac@yahoo.co.jp 日本語/英語とも可

弊社の商品カタログを御希望の方は、会社名、住所、電話番号、ファックス番号を弊社にファックス又は、Eメールにてお送り下さい。

生涯保証

プレミア・パネル

**建築基準法
第37条認定**
“地球にやさしい”しっかりと環境のことを考えて作られた商品です。

- 在来・2×4・ログ・商業建物などの特殊な屋根への使用
- プレカット壁及び床パネルシステム

プレミア・パネルは地震に対して2×4より1.6倍強く、断熱効果は60%アップします。

プレミアパネルの断熱材に使われているEPSは、身体や環境のことを考えて作られています。

他の断熱材と比べて下さい。



鉄骨構造への使用



一般住宅（床・壁・屋根）

 2004年3月2日（火）～
3月5日（金）開催の東京
ビッグサイト・建築・建材展
2004・ワシントン州政府内
当社ブース（AC-218）へ
ぜひお立ち寄りください。

建方請負
SIPパネル専門の熟練された建方を日本全国の現場へ手配します。


パネル施工様子

**構造用断熱パネルはきわめて
価値の高い建材です。**

低ホルムアルデヒドだから安心!!

FC0 ★★★★★ JAS

- ・台風、吹雪、地震から守ります。
- ・害虫、騒音や暑、寒気など寄せ付けません。



EPS及びSIPの陶製品を製造する世界最大メーカー。ポーレイトを使ったSIP及びEPSのシロアリ防虫処理は、弊社の社員によって開発されました。

EPS発泡ポリスチレン

 安全
健康に良い
有毒ガス無

グラスウール

 結露・熱に弱い
肺ガンの危険

ウレタン系

 ホルムアルデヒド
シアンガスの発生
断熱効果の低下

プレミア・ビルディング・システムズ

Premier Building Systems

 米国 TEL: 253-549-4901 FAX: 253-549-4902
4600 70th Ave. East, Fife, Washington 98424 · USA
E-Mail: todddrumm@aol.com
国際輸出責任者: ドラム・タッド

 日本 TEL: 03-5675-5602 FAX: 03-5675-5610
〒134-0087 東京都江戸川区清新町1-1-1-26-505
Eメール: pbsjapan@ballade.plala.or.jp
担当者: 上里光治

 プレミアは、誠実かつ能率的なサプライヤーとして、レイクカントリー・ログホームズ
およびバック・リム ビルディングサプライを強くお勧めいたします。

レイクカントリー・ログホームズ

 高品質のカナダ産ログハウスキットを
工場から直接購入しませんか！

経験

 ビッグフット (BIGFOOT®) の信頼置けるOEMメーカーとして12年間、
ログハウスを提供
システムコンテナ輸送、日本にコンテナを3000以上発送
カナダ、米国、日本で20年以上にわたる経験

製品

 マシンカットログハウスキット
ハンドクラフト手造りログハウスキット
窓、ドア、建材など一式完備、★★★★ホルムアルデヒド無し
樹種: エンゲルマンズブルー、パイン、ダグラスファー、ウエスタンレッドシダー

生産能力

 プレミアムグレードのカナダ産丸太 (シロアリ処理済み) の大量在庫
超現代的なハンドクラフト手造りログハウス組立工場
最先端のマシンカットログハウス製造オートメーション工場

信頼性

 カナダで最も生産的かつ効率的なログハウスメーカーの1社
日本向けに15年以上、何千軒も出荷してきた豊かな実績
ログハウスは、レイクカントリーにおまかせください。

 一貫した高品質のログハウスを迅速にお届けいたします。
建築・建材展2004、BCウッドのブース (AC-124) へ
ぜひお立ち寄りください。

 Lake Country Log Homes
PO Box 885,
Salmon Arm, BC V1E 4N9 · Canada
Tel: 250-836-3834
Fax: 250-836-3874
www.lakecountrylog.com

 東京事務所
〒134-0083 東京都江戸川区中葛西7-4-9
視理士会館ビル3F
電話: (03) 5667-5744
ファックス: (03) 5667-5745
masami@lakecountryloghomes.com

バック・リムの「エスパー便」無料お試しキャンペーン実施中！

**期間限定
輸送費が無料に**

 米国から横浜港までの建材輸送費が無料になるチャンス！
(最大\$990、20フィートコンテナ約1台分)

バック・リムの定期混載コンテナ・エスパー便が、今なら初回



の船代が無料でご利用頂けます。便利で簡単な建材直輸入システムをお試しください。

 お試し無料サービスは、
バック・リムで総額\$4,000以上ご購入のお客様が、初めてエスパー便をご利用される際に限り有効な特典です。最大15m³までの船代が無料となります。適用期限は2004年12月31日までのご利用までとさせていただきます。

バック・リムの定期混載コンテナ「エスパー便」のメリット

簡単	国内通関業務まで、一貫したサービス体制
便利	隔週定期便によるタイムリーな輸送体制
お得	量が増えるほどお得になるリーズナブルな料金システム

 バック・リム
ビルディング サプライ 株式会社
3901 Raymond Ave. S.W.
Renton, WA 98055 USA
Tel: 425-251-3700 Fax: 425-251-0334
e-mail: sales@pacrimbuilding.com

 WE MAKE FRIENDS WITH EVERY SALE
**PAC-RIM
BUILDING
SUPPLY, INC.**

(3ページよりつづく)

リフォームを単に修理及び投資として捕らえるのだけではなく、保存そして進化として捕らえることが出来れば、日本の街並もまた違った美しさを取り戻せるのではないかと信じています。

米国最新リフォーム事例研究

米国の住宅産業を支えるリフォーム市場を検証。大手ホームセンターLowe'sの基調講演および日米の建築家がアメリカでのリフォームの方法とデ

(1ページよりつづく)

見られるようになってきましたが、北米の新築では70年代後半以降にこの動きは起きています。これは女性が活動的に社会進出を遂げた年代と重ね合わさったレイアウトが多くなったと一説では言われています。それまでは北米での戸建は数年前の日本の設計で多く見られた様に、キッチンとリビングの空間は壁により仕切られた空間というレイアウトも多く見られました。それまではキッチン空間も今と比較して差ほど大きくなく、作業効率を考えた動線計画も現在ほど考慮して設計されていなかった様です。30年以上も前のライフスタイルを元に設計されたキッチンデザインと現在のライフスタイルでは合わなくなっているのは自明で、リフォームにより家族の求心力となる空間をリフォームするのは自然な流れと言えます。

投資目的としてのリフォーム

NYで起こったテロをきっかけとして、2001年9月にはダウ工業株は約8500ドル台から翌年には7,400ドル台にまで暴落し、引退後の年金プランも含め資産運用を株などで行う一般人は、その行き先不安から金の流れを株での投資から他の投資対象へと模索しました。そして陰りを見せた経済を蘇生させる為に行われた国からの政策の一つが今までにない程の低金利でした。一般的にアメリカの住宅の資産価値は毎年右上がりの上昇傾向にあり、一般投資家は株式投資と比べリスクを最大限にヘッジできるリフォームを投資対象と考えました。これは全ての投資家に起きた現象ではありませんが、リスクに敏感な一部の投資家は金の流れを移行させた結果リフォーム市場は成長したとも言われています。2002年を例に取ると新築着工数160万戸に対してリフォーム総数は441万戸となっており、キッチンリフォーム市場規模だけでも432億ドルに達すると言われ、その総額は毎年着実に上昇しつつあります。

北米でのキッチン市場はあくまでも木製扉が主流

毎年着実に成長を遂げているキッチンリフォーム市場ですが、アメリカでのキッチントレンドはあくまでも木製が主流。色々な樹種が次から次へと投入されており、扉のデザインや色目にも変化を見せています。木製が主流なのは上述した通りリビングとキッチンが合わさっているレイアウトが多いからで、内装に木製を使用している空間には木製キッチンが違和感なく調和するからです。また、昨今日本のメーカーが販売している目が焼けるような真赤な扉や、黄色、青などのラミネートを使用した市場シェアは全体の僅か4%以下に止まっています。

木製が依然として全盛を振るっているアメリカ市場ですが、トレンドも目まぐるしく変化しています。ここ数年アメリカでは「キッチンのルネッサンス期」と呼ばれているくらい目まぐるしく変化をしており、オークなどの木目が激しく流れる樹種よりは、アルダー、メイプル、チェリーなどが主流になっています。例えば、さかのぼって90年ではオークの市場シェアは約60%、メイプル25%、チェリー15%に対して現在はメイプル、アルダー、パーチなどの優しい木目の白木系やチェリーがオークのシェアに代わりオークのシェアは10%までに下がっています。

例年シカゴやフロリダで開催されている全米キッチン&バスショーという催しがありますが、ここ数年は隆盛を誇っているがグレース仕上げという木製扉に2度塗りをした技術です。

これは日本にはない仕上げ工法で、一度着色した物を乾かせた後もう一度別の色をのせ、さらに拭き取る仕上げです。木目を見せながら、下地色、そして最後のグレース色と3つのテクスチャーが融合する仕上げで深みのある微妙な色目でユーザーを魅了しています。

また、他にも見逃せないトレンドとして挙げられるのが調理機器やカウンター、水栓などの箱物以外の進化です。上述した全米キッチン&バスショーでは出展者の半分以上が、ハードウェア、ドアノブ、調理機器、水栓、カウ

ザイン技術を実例を通してご紹介します。ミニ展示会で実際に米国製の窓、モールディング、屋根材等を見て、担当者とお話できます。詳細はアメリカ針葉樹協会まで 電話03-3589-1320

3月8日(月) 東京 (財)日本教育会館
3月9日(火) さいたま (財)埼玉会館
3月10日(水) 千葉 千葉商工会議所
3月11日(木) 横浜 メルパルク横浜

ンタートップのメーカーとなっています。

例年全米各地で行われているストリート・オブ・ドリームスなどを見ても、キッチンに組み込み型のエスプレッソマシーンがここ数年登場しており、ステンレス製の厨房スタイルをイメージしたハイカロリーバーナーと木製キッチンを上手くブレンドしているデザインを多く見かけます。これは消費者の興味が単にキッチンのみだけでなく、ディテールにこだわりを持ち始めているのを裏付けているのではないのでしょうか？

レイアウトの考え方も進化している

昨年あたりから日本のキッチンメーカーも対面式のレイアウトを全面的に広告しているのを目にしてキッチンに携わる者としては嬉しい限りですが、こちらアメリカでもライフスタイルの変化に伴い、設計レイアウトも変化を遂げています。ここでは全てが万事必ずそうであると言う訳ではなく、あくまでも一部の動きとして見られるという事ですので悪しからず。

ここ数年の動きですが、流しやレンジ・コンロの位置は壁側ではなくリビングなどに面する対面側やアイランドに移行していることも見逃せません。以前は一般家庭の庭付き一軒屋などでは流しは壁側の窓下に来るのが多い設計のようでした。これは子供が外で遊んでいるのを親が見ていられるという理由からの様ですが、最近は子供もTVゲームなどの普及で家の中にいる時間が増えている事から、流しやレンジの位置はそれに従いアイランドなどのリビングに面する位置に設置する事が増えているようです。

もう一つ見逃してならないのは、食品庫スペースの増加で、これはアメリカに限らず日本にも見られてくる傾向になると思います。パントリー(食品庫)はアメリカでは頻りにレイアウトされていますが、日本ではシステムキッチンの事に集中するあまりつい見落とされがちです。収納は食器や調理器具のみを収納する訳でなく、レトルトを例に常温にて貯蔵する食品も多く見られます。アメリカのスーパーなどにおいてもこの常温で貯蔵できるレトルト食品をはじめパスタや缶詰などの調理時間を短縮する新製品が次から次へと発売されています。そうなるに食器以外にこれらの食品を収納する場所が必要になる訳ですから、食品庫のスペース拡大の流れは自然と言えるでしょう。

これからの日本のキッチンは？

今まで日本によく見られたキャビネットを壁に依存して取りつけていたウォール・ツウ・ウォールの発想に見られるように、I型2550、I型2700というお決まりのパターン化が徐々に変化を見せ、最近ではキッチンスペースが大きくなりアイランドやペニンシュラなどのセルフスタンディング型がテレビのCMでも見られるようになった日本製キッチン。そして、日本においてリビングとキッチンが一体になってきている設計を多く見ると70年代後半にアメリカで女性がさらに社会進出を遂げ、リビングとキッチンが一体になった時代背景は、現在の日本の状況と重なるような気がします。

現在の日本のキッチンは転換期にきており、これからは壁に依存してキャビネットを取りつけるウォール・ツウ・ウォールからの発想から、アイランドに見られるようにセルフスタンディングの発想に転換して行くのだと思います。そしてレトルトの様な常温で保存できる食品の増加で食品庫の必要性もでてくるでしょうし、夕方デパ地下の食品コーナーがOLや主婦で溢れているように、惣菜が手軽に入る時代になり食事を作るプロセスが簡素化されています。これからはライフスタイルを踏まえた食生活や収納のあり方も次第に変化をとげて行くのではと思います。

いずれにせよアメリカや日本に限らず大切なことは、どのようなシチュエーションにおいても食と各家族それぞれのライフスタイルの大切さを見なおし、型にはまった押しつけの提案ではなくキッチンやリビングに各々必要な物を提案して行くことではないでしょうか。

NAHB2004 IN ラスベガス

1月19日から22日までラスベガスで開催された世界最大規模の展示会「インターナショナル・ビルダーズ・ショー（以下NAHB）」は出展企業1600社、海外100ヶ国を含む記録的な来場者105,000人、また、展示スペースも150,000㎡と昨年の記録を上回り、過去最高となりました。



展示会場となったラスベガス・コンベンション・センター

全米最大のこの展示会は建材から家電製品まで住宅建築業界に関することならすべてが揃い、200種類以上の製品やサービスが展示されていました。今年も在大阪・神戸総領事館 米国商務省が募った24名からなる視察団にアメリカ総領事館商務部の住宅建材担当、高畑和久上席商務専門官が

同行しました。高畑氏によると「展示会は昨年よりもまして華やかで、会場も活気に溢れていました。ここ数年減少傾向にあった日本からの来場者が今年は多く見かけました。それは皆様が来年の開催地オーランドよりも行きやすいラスベガスを選ばれたのか、または、日本の景気の上向きを象徴しているのか、今後を見守っていきたいです。

展示会場はとにかく広く、ゆっくり見るのはむずかしいのですが、参加者の方々は熱心にご覧になっていました。メインの展示ホールには大手企業が大きなパビリオンをかまえていましたが、南ホールには中小企業が集まっており、新しいものを探すのなら、こちらのほうが適していると思いました。

また、新しい住宅開発地内のモデルホームも見学しましたが、ラスベガスは全米でも人口が急激に増加し、住宅の価格も上昇している都市だと聞きました。一般に米国で見る住宅よりも価格が高く、豪華でパブルっぽいなど思わずにいられず、少し不安になってしまいました。」と感想を述べられました。

ワシントン州内の企業またはエバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）会員企業は約50社出展していました。EBPAの小間では日本、中国、韓国と台湾での活動を紹介、普及に努めました。

ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展企業の中の新製品をいくつかご紹介いたします。アペックス・ワインセラ＆サウナ社（www.apexsaunawine.com）が木製ワインラックを展示。シンプソン社（www.simpsondoor.com）は特注仕上げの外部ドア「バンガロー」シリーズを展示。ハード・ミルワーク社（www.hurd.com）はサイドライドも開閉するシング・パティオドアを展示し、日本での窓口である藤井正愛氏が日本からの来場者に應對されていました。

プレミア・ビルディング・システムズ（www.pbspanel.com）は構造断熱パネル協会（Structural Insulated Panel Association= SIPA）が設けた250㎡にも及ぶSIPA村のパビリオンに参加しました。

G・プッシュ前大統領が1月19日に行



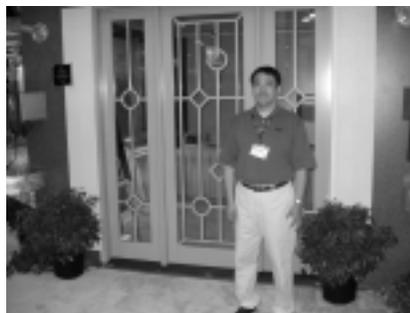
日本、中国、韓国と台湾で展開するEBPAのプログラムを促進するラリー・クビデラ氏



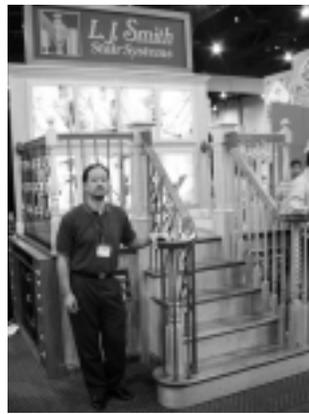
アペックス：特注のワインラックやホームサウナを出展（ワシントン州モンロー市）



シンプソン：バンガローシリーズと呼ばれる新しい木製外部ドアを出展（ワシントン州マリクリアリー市）



ハード・ミルワーク：日本市場を担当する藤井正愛氏が開閉式サイドライト付アルミクラッド製パティオドアを紹介



LJスミス・ステアーズ：日本市場を代表する藤本和彦氏



プレミア・ビルディング・システムズ：SIPA村（250㎡）に参加（ワシントン州ファイフ市）



フィッツ・インダストリーズ：左からデクスター・ハットン氏、ルイス・フィッツ氏と営業スタッフ（ワシントン州タコマ市）



ハントウッド・キャビネッツ：キッチンとバスルームのキャビネット全種を展示（ワシントン州、スポケン市）

われた開会式の基調演説者として出席し、米国経済の大黒柱であるホームビルダーたちへ感謝の意を伝えました。来場者は展示会以外にも視察ツアーに参加することができました。ツアーは2つの住宅開発地視察、健康で活動的な高齢者が住むアクティブ・シニアのコミュニティー視察、そして2004ニュー・アメリカン・ホーム視察（後述）の4つがありました。

また、展示の他に新しい建築システム、建築法、土地開発や建設管理（CM）などの幅広い分野における専門のセミナーが200以上開催されました。

アメリカ・リビング賞、高齢者住宅デザイン賞、革新的建築技術賞を含む各種授賞式も行われました。

本展示会に出展した1,600社の詳細については主催者のホームページのバーチャル・ツアー（www.buildersshow.com/vts.）をご覧ください。

来年のNAHBショーは2005年1月13日～16日までフロリダ州オーランド市で開催されます。（http://www.buildersshow.com/orlando.shtml）

関連イベントとして、2004年6月10日～12日までアメリカ建築家協会（American Institute of Architects）の年次総会と展示会がシカゴで開催されます。（http://www.aia.org/conferences/）

NAHB住宅ツアー

ニュー・アメリカン・ホーム2004

ニュー・アメリカン・ホームは毎年NAHBが主催する住宅展示です。今年はラスベガスの西に位置するサハラ・レイク・コミュニティー内に建設され、NAHB開催期間中のツアーの目玉となりました。

NAHBによると「ロフトハウス」と呼ばれる画期的なデザインは高气密性、建設技術が容易で工期が短い、また、さまざまな消費者の要望に応えられるインテリアデザインを可能にするなどの観点から今後アメリカで増加するだろうと予測しています。



今後注目のデザイン「ロフトハウス」

特徴的な性能：

保温性の骨組み

R-22 断熱コンクリートで基礎と壁を形成
太陽熱上昇が低い窓

気密性

構造断熱パネルが野地板にエアバリアとなる
エアバリアの浸透をふさぐ

湿度制御

適切な排水面

ダクトエアの漏れ

すべてのダクトにアドヒシブを使用
空調設備

空調スペースに機械設備を内蔵
高性能な気圧調整機とヒートポンプ
SEER（季節エネルギー消費効率）が高いコンデンシングユニット
機械換気用の熱回収換気装置

給湯

天然ガスと効率がよい湯沸器

Professional View プロフェッショナル・ビュー

日米双方の住宅市場に精通しているプロのご意見を聞く
今回はジェットロでの経験を活かし輸入住宅の促進をライフワークにされている倉石文彰氏に今後の業界のあり方について伺いました。

輸入住宅ビルダーから聞いた 輸入住宅の今後の見通しと課題

輸入住宅の最近の売れ行きはどうだろうか。伸びているのか減っているのか、またどんな問題を抱えているのだろうか。2003年10月下旬に輸入住宅ビルダー12社を選んで筆者が行なった電話インタビュー調査と輸入住宅・部材関連企業アンケート調査（国土交通省、経済産業省が昨年12月末に発表）などをもとに考察してみよう。

電話インタビューした12社は、筆者が日頃からコンタクトしている輸入住宅関係企業とジェットロ輸入住宅展示場出展企業である。輸入住宅とログハウスの大手企業から地方の中小輸入住宅工務店まで幅広く選んだ。また、輸入する住宅、部材も米国、カナダ、スウェーデン、フィンランドなど多数の国のものが含まれるようにし、地域的にも仙台から広島までできるだけ広い地域の企業を選んだ。調査サンプル数の少ない電話による短時間のインタビューであったが、代表的輸入住宅ビルダーの経営者、役員や管理職から貴重な情報とご意見を頂くことができた。

輸入住宅のシェアは2%程度か

現在どのくらいに数の輸入住宅が毎年建築されているのであろうか。国土交通省、経済産業省、ジェットロなどが平成5年から行なっている輸入住宅・部材関連企業アンケート調査（以下「輸入住宅調査」）をみると、別表の通り輸入住宅供給戸数は平成4年度の1376戸から大きく伸びて平成11年度には10,158戸とピークに達した。しかしその後、平成12年度には8,836戸、平成13年度8,086、平成14年度7,781へと減少が続いている。

はたして輸入住宅は過去3年間連続して実際に減少したのだろうか。筆者の推測では、輸入住宅は、この3年間においても減少ではなく、横ばいないしは緩やかな伸びを続けてきたとみられる。

同調査で輸入住宅供給戸数が平成11年のピークから減少したのはいくつかのはっきりした理由があるからである。最も大きな理由は、アンケートに毎年回答していた大手2社が平成12年度以降のデータを回答しなくなったことだ。この2社はそれまで3,000戸を上回る輸入住宅を供給してきたことを勘案すると、輸入住宅供給戸数は1万戸を越しているともみることできる。

もう一つは輸入住宅の定義が、平成14年度の調査からより厳密化されたことだ。この調査が開始された時点では、輸入住宅の定義は「海外の設計思想による住宅を、住宅1戸分として、資材別輸入またはパッケージ輸入し、相当程度の輸入資材・部材を用いて建設した住宅」と定義されていた。しかし、平成14年の調査から「...相当程度の輸入資材・部材」とは、50%を超えるものより厳密に定義されるようになった。また、平成15年度のアンケート調査回答企業数が、前年の483社から329社へと大きく減少したことも、平成14年度の輸入住宅供給戸数は、「7,781戸で前年度比3.8%減少」と発表された原因になったように思われる。

さらに、輸入住宅を建設していてもこのアンケート調査に回答しない企業がかなり多い現状を考えると、「...相当程度の輸入資材・部材を用いて建設した」という当初の定義による輸入住宅は、現在1万2,000~1万3,000戸建設されているのではないだろうか。筆者は、海外の設計思想による北米型2×4工法や2×6工法、北欧型パネル工法あるいはログ工法などで、20%~40%程度でも輸入資材・部材を用いて建設され、ビルダー自身が輸入住宅として販売する住宅を輸入住宅と考えている。

このように輸入住宅は、過去10年余りの間に機能、性能、デザインのよさと価格面での強みを発揮して着実に伸びてきている。現在では、戸建住宅に占める輸入住宅のシェアはほぼ2%に達していると思われる。

上向きに転じてきた輸入住宅販売

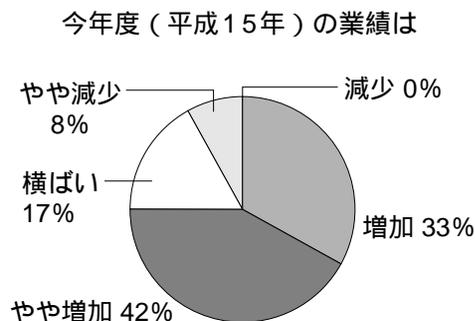
12社の輸入住宅ビルダーに前年度と今年度の状況について聞いたところ、平成14年度は輸入住宅販売が減少ないしやや減少との回答25%、横ばいとの回答が42%、増加ないしやや増加が33%であった。これに対し、本年度（平成15年度）については増加ないしやや増加との回答が75%と全体の3分の2

を占めており、業績が上向いてきている。

売れている理由として、機能・性能・デザインなどレベルの高い輸入住宅が適正な価格で買えることについて消費者の理解が進んだこと、各社の営業面やコストダウンなどの努力、住宅ローン減税の年内継続、地価の下落、低金利などがあげられた。

パッケージで輸入住宅を建築している岡山県の企業は、「30坪2階建のダグラスファーの米国型2×4輸入住宅を890万円で提供する方針を打ち出し、業績が大きく伸びてきている。シックハウス対策問題も、24時間換気や木製部材建材の多い輸入住宅の利点をPRして乗り切っている」とのべている。

一方やや減少で厳しい状況と回答した企業は、その理由として、30才前後の一次住宅取得者の自己資金力が落ちていること、大手ハウスメーカーの住宅レベルの向上と価格引下げで競争が激化したこと、日本経済の停滞と住宅市場の低迷などを上げている。



輸入住宅の価格帯は中価格が中心

調査対象12企業が主力としている住宅の価格帯は、高価格23%、中価格62%、低価格15%。またターゲットとする顧客層は、若年層38%、中年層49%、高年層13%となっており、輸入住宅は中価格帯のものを中心に、中年層と若年層をメインターゲットにして売られている。「輸入住宅調査」によると輸入住宅の坪当たり平均単価は、平成5年度の64万円から年々低下し、平成14年度では52万円となっている。これは、平成14年度の住宅金融公庫マイホーム新築融資利用者の平均坪単価59万円と比較してもかなり割安の金額となっている。

各社のメインアイテムの価格帯

高価格帯(60万円台~80万円/坪以上)	3社	23%
中価格帯(50~60万円/坪)	8社	62%
低価格帯(30~40万円/坪以下)	2社	15%

注)12社のうち1社が複数回答のため回答合計数は13社となる

各社がメインとしている年齢別客層

若年層(20歳代~30歳代前半)	6社	38%
中年層(30歳代後半~40歳代後半)	8社	49%
高年層(50歳代~60歳代)	2社	13%

注)複数回答

シックハウス対策の影響

電話インタビューした各企業は、輸入住宅を建築販売するうえでの問題点として、大手住宅メーカーとの競争、輸入部材・建材の入手時間の長さ、輸入建材の見てくれの悪さと品質のばらつき、輸入品に不利となる国内の規制などを指摘している。

シックハウス対策の影響については、大変大きかった3社(25%)、若干あった8社(67%)、あまりなかった1社(8%)であった。これまで使用していた輸入建材が使え

なくなったり、在庫していた輸入建材にホルムアルデヒド発散防止加工を要し手間とコストがかかったとする企業があったが、全般的にみると大臣認定を受けた輸入材、無垢の木材など自然素材や一部国産品への切替えなどで何とか対応できているとする企業が多かった。しかし、これにより輸入建材選択の幅が狭まったのは、多様性

(10ページへつづく)

色彩が決め手!

洗練された色彩計画はあなたの会社や製品の個性を引き立てます。弊社は色彩設計や美観に優れた地域社会の創造、多様性、個性において、アメリカのトレンドの最先端にいます。

ザ・カラーピープル 建築カラーリスト

The Color People
2231 Larimer St.
Denver, CO 80205 USA
Tel (303) 308-0220
Fax (303) 308-0123
www.colorpeople.com



階段材



フィッツという名称は、木工業界において50年以上にわたり、高品質の象徴とされてきました。フィッツ・インダストリーズ社は1947年、フランク・フィッツ・ジュニアによって創立されて以来、精密な木工部品を製造してまいりました。フィッツの成功は、お客様第一の精神と弊社の家族を重んじる伝統的な価値観の賜物です。フィッツ・インダストリーズは現在も、ファミリー企業として、高品質の階段材を製造しております。

建築・建材展 2004 の弊社の展示場に ぜひお立ち寄りください。

フィッツ・インダストリーズは、
F★★★★の評価を受け、大臣認定取得済。

高品質の広葉樹材、針葉樹材、
アイロン製の階段材製造業者

Mr. Dexter Hutton
Fitts Industries, Inc.,
5640 South Durango, Tacoma, Washington 98409 • USA
Phone: 253-474-2923 • Fax: 253-474-0408
dhutton@fitts.com



建築・建材展2004、ワシントン州政府内当社ブース (AC-218) へぜひお立ち寄りください。

Fitts
Manufacturers of Quality Stair Parts
Made in the USA

魅惑の木製ドア



4683



6404



4390

1912年の創業以来、シンプソン社は高品質の木製ドアをデザイン、製造し、世界中お客様に提供して参りました。

日本でも、シンプソン社のドアは、その自然な美しさと性能で高い評価を得ております。

当社の魅力あるれるドアのお問い合わせはファックスにて下記番号へご連絡ください。

Simpson®

M·A·S·T·E·R·M·A·R·K®

HANDCRAFTED DOORS FOR AMERICA'S FINE HOMES

www.simpsondoor.com

1-360-495-3285

(7ページよりつづく)

のある住宅、多様なライフスタイルを売り物にしている輸入住宅業界にとってマイナスと多数の企業が指摘している。

シックハウス対策の影響

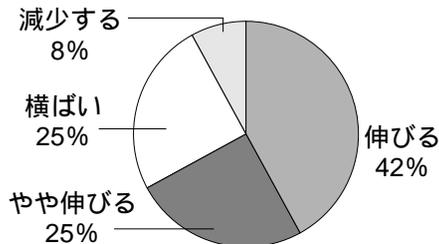
大変あった	3社	25%
若干あった	8社	67%
あまりなかった	1社	8%

また、「どの輸入住宅部材、建材が規制をクリア(4)しているかの情報が少なすぎる」、「ホルムアルデヒドなど有害物質の基準をクリアしている欧米建材が使えないのはおかしい」といった指摘もあった。

今後の見通しと課題

今後2年ほど先までの輸入住宅の見通しについては、伸びるとの回答が5社(47%)、やや伸びる3社(25%)、横ばい3社(25%)、減少1社(8%)の回答で、引き続き着実な伸びが期待できそうである。

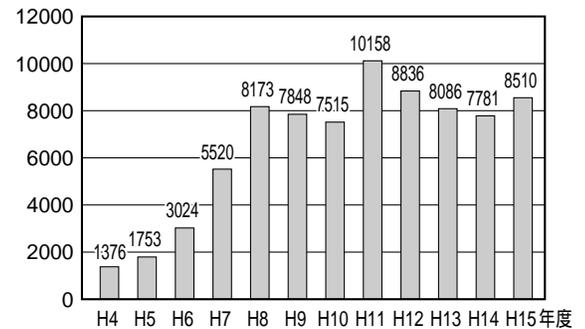
今後2年ほど先までの見通し



輸入住宅の普及促進に必要なこととして、問題の多い日本の住宅の実情を知らせ、同時に輸入住宅の機能、性能、デザイン性のよさとコスト面のメリットを知らせる消費者向け広報の充実、輸入住宅工務店への継続した技術普及教育、輸入住宅部材調達の迅速化と安定供給体制の確立

が要望された。また、輸入住宅業界や国内の中小企業の参入を阻害し、消費者にコスト高をもたらすような建築関連規制の撤廃と緩和、輸入住宅のレベルの高さを維持しながら一層のコストダウン努力の必要性なども指摘された。さらに外国大使館や外国政府機関による日本の輸入住宅業界支援活動の充実を望む声も聞かれた。

輸入住宅供給戸数



注：平成14年度までは供給戸数実績、15年度は供給予定
出所：輸入住宅・部材関連企業アンケート調査（国土交通省、経済産業省、ジェットロ、日本ツバイフォー建築協会、輸入住宅産業協議会が実施、昨年12月末に発表）



筆者略歴：倉石文彰
 1942年東京生まれ
 1961年～1999年 ジェットロ勤務（米国カナダの4都市に通算16年駐在）
 1999年～2002年 ジェットロ輸入住宅部材センター[大阪]所長
 2000年～2002年 ジャパンホームショー実行委員
 2003年～ 個人で事業を開業（輸入住宅・部材普及促進アドバイス、執筆や講演、貿易データベースのマーケティングなど）
 Eメール：kuraishi@nn.ij4u.or.jp

改正建築基準法の施行と米国建材メーカーの対応

シックハウス対策のための規制導入として改正建築基準法が2003年7月1日に施行されてから7ヶ月以上がたとうとしている。一時期の混乱はおさまったものの、施行前から予想された通り、米国建材メーカーにとってはあわただしく対応に追われる毎日であり、国内メーカーと比較してハンディを背負った形となった。

企業努力の結果、ワシントン州内およびエバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）会員で大臣認定取得もしくは申請中の米国建材メーカーを紹介する。（2月1日現在、アルファベット順）

Buffelen Woodworking（ドア・戸材製造会社）

バッファレンの木製ドアは、法改正にも対応するソリッドフィンガージョイントの芯材を使用。国住指第3361号下、F 1100 の性能評価を受け大臣認定取得済みです。ファー、ヘムロックのドアはもちろん、オーク、メープル、チェリー、パイン、マホガニー等、多くの樹種であらゆるデザインに対応。日本のマーケットニーズにお応えしていきます。

Canyon Creek Cabinet Company（キャビネット製造会社）

当社は、コーナーストーン（アメリカンフレームキャビネット）、ミレニア（ヨーロッパアンフレームレスキャビネット）の両構造にて、Raised, Recessed Panelの 木製ドアに加え、シンプルかつモダンなデザイン性を幅広く演出出来るインプレッションシリーズ（ラミネート加工ドア）にて大臣認定申請中です。

DeWils Industries（キャビネット製造会社）

デュイルズインダストリーズの製品は2003年12月に国土交通省よりF 1100 の大臣認定を取得致しました。デュイルズはキャビネット製造において使用されるすべての部材を法改正に対応する為、対日向け製品において部材の仕様を変更するなどして認定及び、規制をクリア致しました。北米及びヨーロッパ系メーカーの中でキャビネットに使用される部材すべてに対応したメーカーは弊社が初めての取得で、日本のお客様にも安心してご使用頂けます。

Fitts Industries, Inc.（階段材製造会社）

フィッツの製品はハードウッド、ソフトウッドともに、平成15年11月、国住指第2843号のもとF 1100 にて大臣認定取得済みです。西海岸最大規模の倉庫、そして日本国内にも充実した在庫をそろえ、これまで通り、皆様に安心してお使い頂ける美しい木製、そしてアイロンの階段材をお届けしていきます。

LJ Smith Stair Systems（階段材製造会社）

L.J.スミス階段材の内、該当する踏み板、蹴込み板について昨年ホルムアル

デヒト発散試験をして、F 1100 に値する結果が出ました。大臣認定申請書類が受理され、認定書、番号を待っており、2月中旬ごろには認定書が発行される予定です。樹種としてはレッドオーク、ヘムロック、ハードメープルで申請しています。

Simpson Door Company（ドア製造会社）

シンプソンドアの製品は2004年1月に、F 1100（国住指第3299号）大臣認定を取得致しました。ダグラスファー、ヘムロック、パイン、メープル等19の樹種に対応しております。尚、一部対応していない商品も御座います。

各社へのお問い合わせはワシントン州政府日本事務所（P15）まで。

PSIが初の海外評価機関となる

現在まで大臣認定のための指定性能評価機関が国内機関のみだったのも、米国建材メーカーにとって大きな壁となっていた。そこでPSI（プロフェッショナル・サービス・インダストリーズ：本社シカゴ）が最初の海外評価機関の指定を受けるべく申請を進めていたのが、この度受理された。PSIによると2004年3月31日までに正式に指定機関として指定される予定である。

日本に建材を輸出する上で大臣認定申請を希望するメーカーや代理店にとって最初の海外評価機関となるPSIは言葉の問題もさることながら、申請書類の相談やサンプル運送などの面で利便性が高まることとなる。PSIが海外評価機関と指定されれば、性能評価機関と同じサービスを提供することができる。このことによって日本向けの輸出を考え直していたメーカーにとっても再検討する材料となり、消費者が今後もバラエティやデザインに優れた輸入建材を選ぶことができる。

PSIは今後のシックハウス対策として、VOC(Volatile Organic Compounds = 揮発性有機化合物)に関する建材が規制対象物質として大臣認定取得が必要とされると予想している。早ければ今年中に施行される可能性もあることから、PSIではこの事態を見据えてホルムアルデヒド以外にもVOCも含めてサービスを提供できるよう努力している。

PSIについては

Mr. Randy Webb まで
 米国Tel: 1-800-324-5024 e-mail: randy.webb@psiusa.com
 もしくは東京オフィス 牧野氏まで
 Tel: 03-5405-1174 e-mail: cjmakino@tkkatt.ne.jp

すぐ「SOLD」の看板が出る 人気の住宅開発地ウッドサイドの魅力

エバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）の冬季住宅視察ツアーの参加者は1月15日、住宅開発地ウッドサイドを訪れました。このウッドサイドはシアトル地区では即日完売するほどの人気があり、シアトルのマスタービルダーズ協会（P.12）から「コミュニティ・オブ・ザ・イヤー」賞を受賞し、注目を浴びています。

この開発地には480の敷地区画があり7つのビルダーが建設に関わっています。そのビルダーのひとつであるスタッフォードホームズが建設したモデルホーム3棟を見学しました。創立1967年のスタッフォードホームズは、米国の最大手ビルダーであるD.R.ホートンに最近買収されましたが、この開発地の中の320棟を建設しています。

ウッドサイドの魅力は立地のよさ、値ごろ感と周辺のアメニティが充実していることが挙げられます。価格帯は\$250,000(\$1=108円 27百万円)から\$450,000(約48百万円)まで。160ha以上が公園や緑化地帯として当てられ、住民に自然を満喫しながらハイキング、ジョギングやサイクリングができるよう提案しています。



「ベルモント」180㎡、32百万円

ウッドサイドはダウントウン・シアトルから南へ15kmに位置するレントン市にあります。典型的なシアトルの街並を思わせるデザインではあるものの、価格はシアトル中心部より3分の1近く安く設定されています。



「ベルモント」ガス暖炉と熱効率の高いミルガード社の樹脂窓

モデルホームの「ベルモント」と「シンクレア」は共にさまざまなデザインや興味深い製品で特徴づけていました。2棟の価格は約27～32百万円まで。例えば

日常の生活スペースはオーク、メイプルか樺材のハードウッド（広葉樹）フローリング

ガス暖炉

各部屋は白の木工品で白のペンキ仕上げのレイズドパネルの内装ドア

ミルガード社の窓

けり板付の4枚パネルの玄関ドアとSchlage防犯デッドボルト家全体に新鮮な空気が循環するシステム



「シンクレア」157㎡、27百万円



「シンクレア」キッチンには白のラミネートキャビネットと見えないヨーロッパ製ちょうづかい



ダイニングには作りつけの壁収納



「ウォーターフォード」のフロアプラン

モデルホーム「ウォーターフォード」は3ベッドルームと2階に多目的に使用できるポーチスルームがあり、販売価格は\$380,000(40百万円)

伝統的なシアトルの職人デザイン昔ながらの街並みを思わせる美しく手入れされた前庭レンガ、カルチャー・ストーンもしくはスタッコを木製サイディングを組み合わせたエクステリア仕上げ1階は天井が高く、採光窓、レールバラストの階段



「ウォーターフォード」265㎡、40百万円

オーク材の伝統的なレイズドパネルのキャビネットリビングとダイニングはクラウンモールディング、フォーマルスペースはワイドベースモールディング無線LANでホームコンピュータとインターネット接続

D.R.Hortonのホームページからバーチャルツアーへどうぞ
<http://www.staffordhomes.com/stafford/community.jsp?projectid=122&projID=7567®ion=Washington&community=Woodside&order=neighborhood>



Hurd Millwork
575 South Whelen
Medford, WI 54451

今や、施主の満足が優先される時代です。ハードには長年にわたる高品質と常に新しい技術を追求してきた伝統があります。さらに、弊社では目の肥えた住宅オーナーのために豊富なオプションと、独自の商品群をご用意しています。ガラスのコーティング加工オプションも幅広く提供しており、

今日最も関心の高い太陽エネルギーに関するニーズにもいち早く対応しました。詳しくはWebサイトwww.hurd.com をご覧頂くか、(03)3973-7579 までお電話下さい。ハードを選ぶ理由がきっとお分かりいただけるはずです

Let's build together.™ 

(6ページよりつづく)



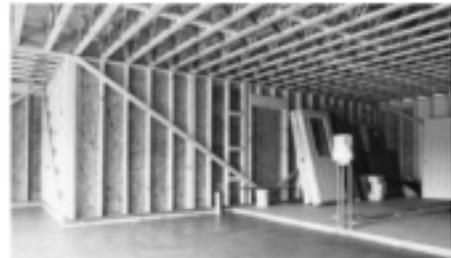
左手がキッチンのオープンスペース

エネルギー効率を高めるためにデザインされたこの家は、数々の高性能技術を誇っています。例えば、太陽熱上昇を抑える窓、断熱性と機密性を満たすSIPを使用した屋根システム、省エネをしながらも夏の暑い気候に適した高い冷却能力がある空調設備など。

これら製品ののおかげで、同じラスベガスの気候で同規模の住宅より暖房

では51%また、冷房では54%もエネルギーをカットすることができます。

この475m²の住宅はインテリアデザインとレイアウトの選択に多様性を提案するロフトデザインが特色となっています。



最適のバリューエンジニアリングによって少ない資材でも従来のフレーミングと同じ構造強度を持つ

含めると新築着工数が約1万棟になると予想されています。

シアトルMBAはメンバーに対して下記を含む様々なプログラムを企画しています。

<行政> 土地利用問題や住宅価格に関する影響に焦点をあてています。

<教育> ベルビュー市の本部には年間に数十種類のセミナーが開催されています。グリーン・ビルディング、経営管理、デザインと建築、土地開発、工程管理、安全など12部門があります。

<ビルト・グリーン> MBA プログラムはサステナブル(持続可能な)な建設と建材を推奨しています。このプログラムは毎年総会とエコ建材を使用したシアトル・ビルト・グリーン・デザイン・コンペも開催しています。

その他の活動として、年間に100以上の交流会、2つの展示会、リフォームツアーや会員向けの月刊誌などがあり、会員にとって充実したプログラム内容となっています。

プログラムの一環として、4月24日と25日には大規模なキッチンとバスルームのリフォームをしたシアトル周辺の住宅24棟をガイドなしで自由に視察できるツアーが企画されています。

シアトルMBAの詳細情報は www.masterbuilderinfo.comまで。

シアトル・マスタービルダーズ協会を訪問

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)の冬季住宅視察ツアーが1月15日と16日にシアトルで開催されました。残念ながら日本からの参加者はありませんでしたが、初日に韓国からのビルダーや輸入建材業者30人がシアトルのマスタービルダーズ協会(MBA)を訪問し、交流を深めました。

NAHB(The National Association of Home Builders)は米国全土に800支部あり、22万人の協会メンバーによって構成されています。シアトル近郊を含むシアトルMBAは全米で2番目に大きく、3,300の会員企業が登録しています。



EBPA 冬季住宅視察ツアー参加者 シアトルのマスタービルダーズ協会(MBA)本部前にて

シアトル支部の事務所には32名のスタッフがあり、\$6.5百万の予算を運営されています。

シアトルは米国内で11番目に大きい住宅産業市場で、2004年にはシアトル市及び近郊地域も

スウィメックス流水プール

アメリカの住宅では多くの州で高級住宅だけでなく、ごく普通の住宅にもバックヤードにプールのある住宅が多く見られます。これらのプールは子供たちの遊びのためだけでなく、大人たちのエキサイサイズやプールサイドでのパーティーなど広い目的で使われています。でも南カリフォルニアやフロリダなど限られた州以外では秋から春まではプールを使うことは少なく、また、水管理もそれほど簡単ではありません。そのため一年を通して使える、水管理の容易なプールはアメリカのホームオーナーの夢でもあります。

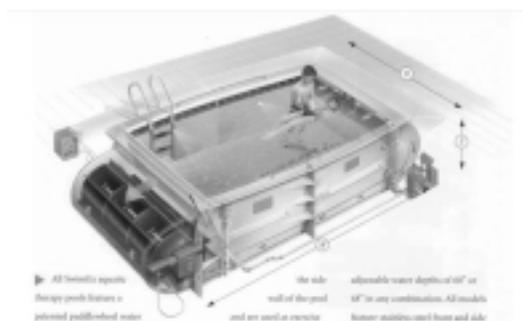
ロードアイランド州に本社を置くスウィメックス社 www.swimex.com はこのような夢を叶える流水プールを製作、販売しています。アメリカ特許のバドルホイールにより発生する流水はモデルによっては最高時速が10kmを超え、また、ポンプやインペラで発生させた流水とは異なり流れが整っているため、まるで大きな川で泳いでいるようです。スウィメックスはプール水面の大きさが幅約



1.9m、長さ約36mですが、流水の中で泳ぐため無限の長さのプールで泳いでいるようです。

プールには大型フィルター、電気ヒーター、オゾン殺菌設備などを完備しているため、希望する水

温を設定することが出来、メンテナンスはとても容易な上、レジオネラ菌などによる問題とも無縁です。このようなコンパクトなプールは約14畳のスペースに設置することが可能ですが、特に日本の住宅向けには2.9m x 5.7m (16.53 m²、約10畳)の敷地に設置出来ます。



スウィメックスは水泳のためばかりではありません。アメリカのプロスポーツ界で広く行われているトレーニング法である水中ランニングを行うことも出来ます。水中ランニングは筋力トレーニングだけではなく、心臓、循環器系の強化にも効果的です。もっと穏やかな流水速度で流水に抵抗して立っているだけでもある程度の有酸素運動を行うことが出来、そのためにスウィメックスが特別養護老人ホームにも設置されています。

スウィメックスの高い性能は住宅用だけではなく、医療、スポーツ、介護など多方面でも利用されています。これまでにアメリカを中心に世界で1,300台以上設置されています。過去3年間のメジャーリーグのワールドチャンピオン優勝チームや、2004年2月のアメリカンフットボールスーパーボールで対戦の両チームもスウィメックスを使っています。スウィメックスは日本でもこれまでに10台設置されましたが、医療用にも採用されています。スウィメックスに関する更に詳しい日本語の情報は www.swimexjapan.com またはパシフィック・センチュリー・インク (info@pcijp.com またはファックス: 1-206-275-0200) へ。

木造伝統構法“ティンバーフレーム”を採用した新事業の紹介 ～貴重な環境資源「木材」の永年使用と再生活用を目的に～

株式会社 ビー・エル・コーポレーション / 山根 存 <http://www.bl-timber.net>

いま、シアトルを中心にティンバーフレームを求めるユーザーが増えています。アメリカでは、成功とともによりよい住宅に移り住む習慣がありましたが、定住型のユーザーが増加し、住宅選びの大きな要素として耐久性が求められるようになりました。

日本においては、昔からティンバーフレームと同様、大断面の無垢材を使用した民家が多く建築され、築後数十年以上経過したものは古民家として親しまれています。但し、供給できる古民家には数限りがあり、和風住宅を希望されるユーザーに対応すべく、ティンバーフレームの技術が採用されることが最近の新たな傾向にあります。既建築数を見ると、最良の建築手法でありながらまだ日本において普及しているとは言えません。当社は、日本人スタッフで構成され、日本の生活スタイルにあった企画設計のお手伝いから始まり、豊富な北米の資源をベースに、ユーザーの趣向に合わせた欧米様式・民家様式のティンバーフレームの加工・輸出をサービスしています。以下に日本国内の設計の方々や施工業者の方々の使用例とティンバーフレームのご紹介をいたします。



ワシントン州の建て方風景

はティンバーフレームの加工場に近いワシントン州内での建て方の様子です。は山梨県での建て方風景です。これらは広い敷地を有し、建て方などの難易度はあまりありませんが、初めての建て方だと勝手も分からず不安がつのも。NPO日本ティンバーフレーム協会（東京都港区Tel 03-5414-3562）では初めてティンバーフレームを手がける工務店に対する技術指導、新築・改築を検討しているユーザーに対するアドバイスをしてくれます。



洋風スタイルのフレーム

は都心の狭小敷地で建てた一例です。いままでの概念ではティンバーフレームの建築には一定の敷地が必要という意見が多くありましたが、見事にくつがえした新たな挑戦の成功結果です。また、屋根トラスだけティンバーフレームを使う部分採用も増加しています。



都内狭小地での挑戦



ティンバーフレームの屋根トラス

以下にティンバーフレームのご紹介をします。

ティンバーフレームハウスとは、

(バランス) 製材した木材にほぞ(凸)を施し、他の木材に施した仕口(凹)に差込み木の釘(込め栓、木栓)で固定し柱や梁を組上げていく堅固な住宅工法を呼びます。日本の在来工法に似通った部分が多々見受けられます。

他の工法と異なる大きな点は使用する材料の断面の大きさです。構造の断面が大きいということは、当然柱間・梁間の長さを大きくすることができ、空間設計の自由性が増します。しっかりした構造設計に基づくこのティンバーフレームハウスは耐震性・耐久性に富んでいることはもちろんのこと、見る人に安心感を与えます。

(ルーツ) ティンバーフレームハウスのルーツであるヨーロッパには、古い歴史と伝統が存在しています。イギリスのチューダースタイル、ドイツのティンバー、そしてスイスのアルペンなどはその代表例です。現存する実例は多種多様で複雑な構造がよく見受けられますが、これは1000年以上もの歴史による技術進歩だけでなく、現実に大木がなくなり短い材料を使わなければならない資源的な理由があったのです。廃船利用の建物がイギリスで見られるのもその現われです。

一方、アメリカのティンバーフレームハウスはニューイングランドに渡った移民者の手によって、ヨーロッパとは違った進歩をとげていきました。それは北米大陸発見時に存在した無限の大木に起因するのです。大木は大きなスパンを取ることと、単純な構造を可能にさせました。結果、ヨーロッパに比べ自由性の増したスタイルへと推移していきました。シンプルで機能性に富んだ住宅スタイルはアメリカ人の欲する合理主義にも合致したのでしょうか。

(認知) さて、そんなティンバーフレームハウスがなぜ今あまり知られていないのでしょうか？

19世紀の中頃まで頂点にあったティンバーフレームも、東部でツーバイフォーという手軽な工法が紹介されてからは徐々に採用される機会が減りました。さらに、アメリカ中部にまで広がっていたティンバーフレーム工法でしたが、西へ西へと向かう開拓者が選んだ工法の多くはログハウスであり、ポピュラーな工法からティンバーフレームは姿を消していきました。この時期中部では大きくてシンプルな納屋をティンバーフレームで造り、手の込んだ住宅はツーバイフォーで造るケースが多くありました。高度成長が進み年間の着工件数が増加の一途を辿る中、やっと、森林伐採による環境問題が叫ばれ、過去の建造物の中でひととき耐久年数が際立つティンバーフレームに回顧するようになってきたのは、アメリカでも最近のことです。

(魂の家) 現在雑誌などで紹介されているティンバーフレームを手掛ける会社は、アメリカ・カナダを通じ約50~60社です(最近のアメリカの協議会メンバーリストを見ると、個人的に始めた人、或いはサイドビジネスとして取り組む人が増加していて現在150に及ぶ団体もしくは個人にて構成されています。) 彼らの共通の意見としてツーバイフォーの品質に対する疑問があり、それは乱暴に建てられたり、「魂」のない家が多いと感じさせたことです。もっと丁寧に・もっと長持ちし・もっと安心感を与える家としてティンバーフレームを選んだのです。

堅牢な構造は、何世代も続く家族の歴史を刻みます。

長生きの家は建替え需要の伐採を減らし、自然再生の役目も担っています。

木の家が見直されている今、研究と選択の代償として大きな満足を手にしてください。



民家スタイルのフレーム

~ Meet EBPA ~

欧米の住宅にふれると住宅政策、技術、施主の住宅に対する想いなどの面において、日本とは随分違うことを認識させられます。今回、エバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）の新会員シンコーコーポレーション株式会社（神奈川県横浜市）代表取締役 千田 憲司氏にその使命についてお話いただきました。

わが社の使命は、日本において「資産価値の上がる住宅を生産性高く建築するための解決策を提供する」と考えています。

住宅生産性研究会で戸谷英世理事長の下で、研究会創立のお手伝いもし、日本と世界の住宅のことに多くを学びました。一番の驚きだったのは、欧米の住宅事情を調べると、通常の既存住宅の価格は毎年上昇し、購入価格は年収の3倍以内が目安であり、住宅ローン制度は住宅を手放せば追いかけてこないなど、住宅に関して日本の常識が先進国の非常識であることに驚きました。

日本では消費者が住宅の取得と引き換えに様々な経済的な犠牲を払っていますが、欧米では、住宅は豊かなライフスタイルとともに、所有資産の増加をもたらす、投資物件にもなっているのです。

日本では、バブル崩壊後、土地の値段は下がり、所得もあまりあがらず、住宅の購入に慎重になりました。このままでは、目先を変えた販売戦術や小手先の優遇税制だけでは、日本の住宅産業はますます収縮の一途ではないでしょうか。

そこで、日本で資産価値の上昇する住宅を生産性高く実現することを私のライフワークとして当社の「ハウジングソリューション」がスタートしました。当社のハウジングソリューションは3本の柱から成り立っています。

1つ目は、プランブックです。資産価値の上がることとは、住んでいた住宅を売却するとき、高く買う人がいるということです。住宅のライフサイクルは本来50年から100年あるものですから、そのような長期間、よい環境が維持され、住宅のデザインが継続して高く評価されなければなりません。長期間陳腐化せず高く評されるデザインを実現するのは並大抵のことではありません。そこで北米で広く利用されているのが、プランブックです。プランブックには、何世紀もの間高く評価され続けたクラシックな外観デザインを持ち、現代的でフレキシブルなライフスタイルを可能にするオープンプランを持った住宅が数多く紹介されています。ディテールまでしっかりしたデザインを持つ住宅を建築するには、プランブックを参考にするのが一番です。また、少ない費用で詳細図のブループリントも入手でき、また、当社が提携しています北米の建築家リック・トンプソン氏のハウスプランのように、日本に適した小規模デザインと資材数量リストを低コストで入手できるものもあります。実際にプランブックのハウスプランに従い忠実に建築された住宅は、日本人が北米で接したすばらしい住宅を日本でも実現できることを証明しています。ポイントは、むやみに日本風に変更せずに、できるだけ忠実に建築することだと実感しました。

2つ目に、設計CADソフトです。建築の生産性を高くして利益を上げるには、見積もりコスト管理、工程管理および品質管理をするための、詳細で完成した図面が不可欠です。その図面の作成を高い生産性で作成するプログ

ラムを、私は長い間探していました。条件的には、営業支援ツールとなる3次元パースや構造図および資材リストが自動的に作成でき、なおかつ価格が安価なことでした。そして、アメリカのNAHBショーでようやく見つけたのが、住宅専用CADとしては、No.1のシェアを持つソフトプランでした。今年ようやくわが社でプログラムの日本語化が完成し、発売することができました。ソフトプランを日本で使用することは北米の2×4技術ノウハウを、そのまま日本に技術移転することだと考えています。

3つ目は、我々の考えを実現するために実際の住宅を建築にかかわり、コンストラクションマネジメント（CM）を実践することです。昨年には、リック・トンプソンのプランで、ソフトプランを使用し、また米国のランドスケープアーキテクトにデザインを依頼した住宅を実現することができました。おかげさまで、評判が良く、現在進めている小規模ですが計画的住宅地開発につなげることができました。そこでは、「リック・トンプソンのハウスプラン」、「ソフトプラン」、「CM」および「ランドスケープデザイン」に加え住宅生産性研究会で現在勉強している「資産価値の上がる住宅地開発」の研究成果を少しでも実現したいと考えています。

お問合せ先：

シンコーコーポレーション株式会社

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜1-13-12
クリンゲルンベルグビル3階

Tel: 045-470-8480 Fax: 045-470-8481

E-mail: sales@housingsolution.co.jp

www.housingsolution.co.jp/



EBPA 日本事務所の代表に梶田 章

きびしさを増す競争の中で、ビジネスを持続・強化するために、製品・サービス、流通販路、取引先パートナー、ターゲット顧客、宣伝・広告・ブランドを見直しするなどしてさらに効果の上がるビジネスのしくみを模索している方も多いのではないのでしょうか？

EBPAのマーケティング・プログラムを積極的にご活用ください。商機を生み、ビジネスに直接役立つアメリカ住宅業界情報、現地での住宅視察ツアー、展示会への出展、ミッション、アメリカ企業とのビジネス交流、などを用意しております。

エバグリーン建築資材貿易振興会とは：

米国ワシントン州にその本部を置き、米国の住宅建材、及び関連するサービスを世界市場へ販売促進することを目的とした企業や個人を会員とする民間の非営利メンバーシップ組織です。メンバーは、製造メーカー、流通業者、ビルダー業者、設計などのサービス提供者から成り立っており、米国において住宅建築資材の全般を取り扱う唯一の貿易振興会で1985年から活動しております。現在米国会員50社、日本会員20社。

お問合せ先：梶田 章

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301

電話：03-3459-0898 Fax：03-3459-0897

Email: ebpa@mue.biglobe.ne.jp URL: www.ep.org/



住宅建材セミナー アメリカの住宅建築事情

4月19日（月）～4月23日（金）
長野・八王子・静岡・岐阜・和歌山

米国の住宅建築に関する最新情報をお届けするために年に2回開催される「ワシントン州住宅建材セミナー」も10年目を迎え、50都市以上を訪問しました。

このセミナーは建材やサービスを日本に提供する米国企業が参加し、住宅市場の動向や商品説明を行います。また、講演の合間に隣接会場でミニ展示会を開催しますので、実演や展示物を手にとってご覧になっていたかながら、担当者ごと歓談いただけます。入場料は無料。ご案内を郵送ご希望の場

合はP15の申込書をファックスもしくはEメールにてご連絡ください。

参加企業：アームストロング・ホームズ、オーウェンス・コーニング・ジャパン、キャスケード・コンポーネンツ、グリーンウェブ・インターナショナル、サウダー・モールドディングズ、デウィルズインダストリーズ、(有)トミナガ・コーポレーション、パックリム・ビルディング・サプライ、ホームテック・デザイン&サプライ、立共インターナショナル(株)

次回は10月18日～22日を予定しています。



ワシントン州政府が発行する書籍一覧

ワシントン州政府では米国の工法や建材のご理解をいっそう深めていただき、皆様の事業に役立てていただくために下記の出版物をご用意しています。ご希望の方は下の資料請求申込書をご記入ください。

「在来工法のための輸入窓・ドア 発注から、取付け・仕上げまで」
木造軸組工法における輸入窓とドアの
発注・取付け・仕上げ方マニュアル



今まではツーバイフォー住宅に取付ける輸入窓・ドアという前提でしたが、そのデザイン、性能、価格面等から日本の消費者の人気を集める中で、在来工法でも輸入建材が比較的容易にご使用いただけることをセミナーで実

践し、イラストや写真でわかりやすくテキストにまとめました。

「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」

北米式ツーバイフォー工法に関心のある方々のための躯体工事マニュアル
フレーマー



(枠組を専門に行う大工)のための基本的なテキストを探していた著者スコット・シンプソンが25年以上にわ

たる自らの経験を元に専門用語の意味からフレーマーの管理方法にいたるまでわかりやすく説明しています。

「輸入窓の取付け方：
地域対応の耐水防湿対策」
ツーバイフォー工法における輸入窓の取付けに関する技術的詳細を含んだマニュアル



日本の気候に適した窓の種類や保管方法及び輸入窓の正しい取付け方が詳細に記載された資料です。全米窓・ドア生産者協会(WDMA)による検査基準に関するスライドも含まれています。

2004年版「ワシントン州住宅建材企業案内」無料頒布
ワシントン州は米国でも最大の



住宅産業の規模を誇っており、日本への建材輸出货量のうち、当州の占める割合は50%以上を達しています。州内には米国を代

表するメーカーやサプライヤーがサービスを展開しており、北米の最高レベルの建材や技術が集積しています。本誌には特に日本市場に積極的な企業の業種、取扱商品などの業務内容、事業規模、米国や日本での連絡先などの詳細が掲載されています。各社、日本人スタッフはもちろんのこと、日本に翻訳された資料やカタログの充実化に力を入れており、細やかな対応をしている企業ばかりです。皆様の業務にお役立てください。州政府のホームページでもご覧になれます。

ワシントン州
政府日本事務所

活動スケジュール

<2004年3月2日~5日>
建築・建材展/東京ビッグサイト
ワシントン州/E B P Aパビリオン
(小間番号AC-218)に出展する企業：キャスケード・コンポーネツ、バックリム・ビルディング・サプライ、フィッツ・インダストリーズ、プレミア・ビルディング・システムズ、(株)ヤスタ・プロモーション、ホームテック・デザイン&サプライ

<3月8日~11日>
米国最新リフォーム事例研究
東京・千葉・横浜・浦和
米国のリフォーム事例とデザイン技術を日米の講師やホームセンターLowe'sがご紹介いたします。

<4月19日~23日>
ワシントン州春期住宅建材セミナー
長野・八王子・静岡・岐阜・和歌山
米国企業が約10社来日し、住宅市場の動向やエコロジー商品・設備など幅広い製品・サービスを紹介。ミニ展示会、実演、個別商談会、設計

相談も実施。

「ワシントン州住宅建材企業案内」
2004年版発行
米国を代表するメーカーやサプライヤーで日本市場に積極的な企業の連絡先、主要製品やサービスや特徴を掲載。

<5月17日~20日>
米国最新リフォームと事例研究

<8月30日~31日>
EBPA夏季住宅視察ツアー
グリーンで健康な建築について(エコホームセンター訪問や現場視察)とポートランドのストリート・オ

ブ・ドリームズ見学。

<10月18日~22日>
ワシントン州秋期住宅建材セミナー

<11月13日~15日>
清水FAZ輸入商談会

<11月16日~19日>
ジャパン・ホーム・ショー2004/
東京ビッグサイト

<11月24日~26日>
ホームビルダーズ・エキスポ
OSAKA 2004/インテックス大阪
USパビリオンにて州内企業及びEBPA会員企業の出展

資料請求 FAX 申込書 米国ワシントン州政府日本事務所 FAX 03 - 3459 - 0897 e-mail: jwnko@gol.com

「ワシントン州住宅産業情報」の定期購読や下記資料の入手や掲載を希望される方は、必要事項をご記入の上、ワシントン州政府日本事務所までファックス、Eメールにてお申し込み下さい。

1. 「ワシントン州住宅産業情報」定期購読希望(無料 年に2回発行)
2. 「在来工法のための輸入窓・ドア 発注から、取付け・仕上げまで」(2000円・送料別)
3. 「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」(2000円・送料別)
4. 「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」(2000円・送料別)
5. 「ワシントン州住宅建材企業案内2004年版」(無料)
6. 改正建築基準法に対応した企業(P.10参照)
7. 住宅建材セミナー申込書希望(P.14参照)
8. 作品紹介 掲載希望(プロジェクトを募集中)
9. その他ご意見・ご要望

フリガナ		
会社名	担当者	
フリガナ	〒	
住所		
T E L	E-mail	
F A X		
業 種	1. 建設施工会社 4. 建築設計事務所 6. その他()	2. 建材卸会社 5. 販売代理店
	3. 商社・貿易会社	

下記ページの広告にご関心のある方は印をつけて下さい。

- P1. グリーンクロー P3. ウェスタンパシフィック
P4. プレミア/レイクカントリー/バックリムビルディングサプライ
P7. カラーピープル P8. フィッツ P9. シンプソン
P11. ハードミルワーク P16. アームストロングホームズ

Made



in the USA



Design アメリカのライフスタイルをそのまま表現
Drywall 健康的な住空間をお届けします
HVAC 健康住宅だからこそ欠かせない全館換気空調システム

暮らしに優しい健康住宅 トータルヘルシーコンセプト



アームストロングだからできることー

外観や機能だけを形にした「ハウス」を建てることだけにとどまりません。

映画のワンシーンで見えて以来、憧れていたアメリカのインテリア。

アームストロングだったら遊び心の詰まったアメリカの家具や小物をいっぱい取り入れた「ホーム」づくりが可能です。

シアトルでああなたのお気に入りのアイテムを揃えてみませんか？



あなたの夢を叶えたいー

居るだけで料理が楽しくなるようなキッチン、友達が集まって楽しめるリビングルーム、夏の夜に星を眺めるロフト部屋。思いつきわがままに、お気に入りの風景を色鮮やかに思い浮かべて下さい。アームストロングがああなたの夢をお手伝いします。

アームストロング加盟店だと・・・

- ◆ この欄に自社情報を入れてチラシ配布
- ◆ 「お施主様が直輸入」で粗利30%
- ◆ ドライウォール仕上げで健康住宅
- ◆ 家具や照明などインテリアまでも取扱可能
- ◆ FCのような入会金やロイヤリティーが無い
- ◆ シアトルの本社で技術セミナー
- ◆ 「売り方セミナー」で営業マン大助かり
- ◆ カタログからVCDまで販促ツール品揃い
- ◆ 協同広告で金銭負担を大幅削減
- ◆ 全国に仲間35社（2004年1月現在）
- ◆ 仲間コンテナ混載便で小ロット輸入も
- ◆ アメリカの建築家がプラン作成
- ◆ 通関や運搬などもアームストロングにお任せ*
- ◆ 棟上げもアームストロングにお任せ*
- ◆ モデルオープンに米国政府からバックアップ
- ◆ ETC、ETC、ETC、その他盛り沢山・・・

*PROTOシリーズの場合

お問い合わせは下記まで

www.armstrong.net

加盟に関する詳しい資料等のお問い合わせは
E-mail: nihon@armstrong.net
TEL: 001-0101-253-833-6666 内線 317
(担当: 田中 玲子/清水 康江)
FAX: 001-0101-253-833-5878

